

タルボサウルスの頭骨。長さ1メートル以上あります

アフリカで百獣の王は？  
ライオン！  
では7千万年前のアジアで恐竜の王と言えは？  
タルボサウルス！  
そうです。モンゴルのタルボサウルスは王様にびったり。姿も大きさもアメリカの王者ティラノサウルスそっくりです。私は今まで2頭のタルボサウルス

の発掘に参加しましたが、本当にながしりして強そうな恐竜で  
ところで、王様ならたたくさんの家来を連れて...と思ってしまうのですが、どうもそこではなさそうなのです。私は恐竜の足跡も調べていますが、大きなタルボサウルスの足跡はいつも歩いた跡が1本だけ。つまり一人ぼ

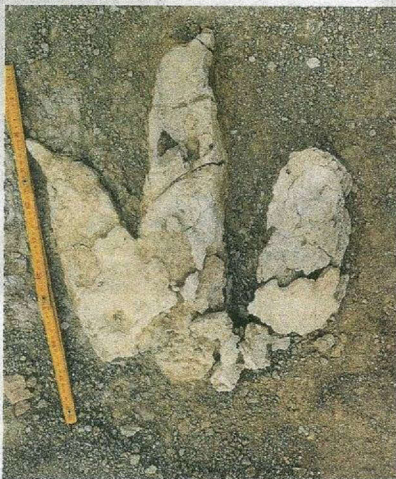
一人ぼっちの王 タルボサウルス

岡山理科大教授・石垣 照

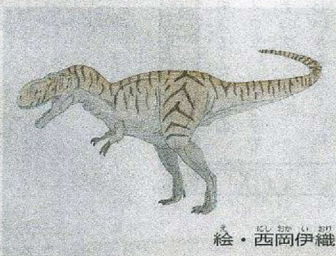


恐竜調査隊が行く

争いや共食い避けるため



タルボサウルスの足跡は3本指。歩いた跡はいつも一人ぼっちです



絵・西岡伊織

つちなのです。  
なぜ、一人ぼっちなのでしょう？  
それはきっと「そのほうが都合が良いから」だと私は思います。お互いの争いや共食いを避けるためだと思います。大小

のタルボサウルスが一緒にいれば、大きい個体が小さな個体を食べてしまおうと思います。爬虫類にはそんな行動が見られます。哺乳類のライオンのように「みんなで協力して狩りをする」というかなり高い能力が必要な行動は、爬虫類や鳥類の世界ではほとんど観察されたことがありません。  
大人のタルボサウルスはアジアの恐竜王でしょうが、いつも敵を意識しながら一人ぼっちで生きる「さびしい王様」だったようです。あ、さびしいですね。タルボサウルスさんごめん

豆知識

タルボサウルスは大人の全長が10メートルを超す大型の肉食恐竜。約7000万年前のモンゴルにすんでいます。



写真はすべて林原一モンゴル共同調査隊撮影